

柏ビレッジ自治会便り

2020/12月号



柏ビレッジ・ニュース

2020年12月5日

柏ビレッジ自治会発行

自治会事務局(自治会館)

TEL 04-7132-1925

FAX 04-7132-1965

柏ビレッジ自治会ホームページ <https://kashiwa-village.com/>



柏ビレッジの皆さんの「安心と安全」をテーマに

……今回の柏ビレッジ・ニュースは、それに関連される各機関の方々への取材でお話いただいた内容を記事にまとめました。

■ 利根川上流河川事務所守谷出張所 出張所長 作田さん(右) / 管理第一係長 小林さん(左)



Q1. 柏市洪水ハザードマップと柏ビレッジでの避難の想定について

A1) 洪水や河川、調節池に関することは自信をもって答えられますが、避難に関することは柏市さんが主務となります。正確なことは柏市さんに確認する必要がありますとの前提でお聞き頂ければと思います。さて、洪水ハザードマップの前提となる想定最大規模の雨量では、柏ビレッジ地域は、概ね3m~5mの水位となります。これは2階に避難しても水が来てもう規模であり、関東地方に記録的な豪雨が予想される場合には堤防が決壊する前に浸水しない場所へ避難する必要があります。

では、どこへ逃げるか。⇒洪水の場合では、柏ビレッジから田中近隣センターに避難する事になっているようです。田中近隣センターで収容しきれないと予想される場合には田中小学校、田中中学校が避難所として開設されるとのことです。近年の新型コロナへの対応策については、柏市に確認して欲しいですが他の自治体と同様に柏市も収容規模の制約があると思われます。親戚・友人等が居られる場合はそちらへ避難するのも選択肢のひとつになるのではないのでしょうか。

いつ逃げるか。⇒従来は「避難した方が良いか」の判断への手順が分かりにくいと言う話がありました。現在、各自治体では分かりやすい行動指針等の作成が進んでいると聞いています。どのように上手く住民に伝えて避難してもらうか、どんな工夫をするべきか色々研究されているところです。

Q2. 河川堤防の設計について

A2) 避難の話とは別になりますが、堤防を設計する時には、計画高水位(計画規模の大洪水の時、計画した河川の整備状況で発生する水位)以下の洪水を安全に流すことを前提として進めていますので、この水位を超えることは堤防にとって極めて危険な状態にあると考えて下さい。

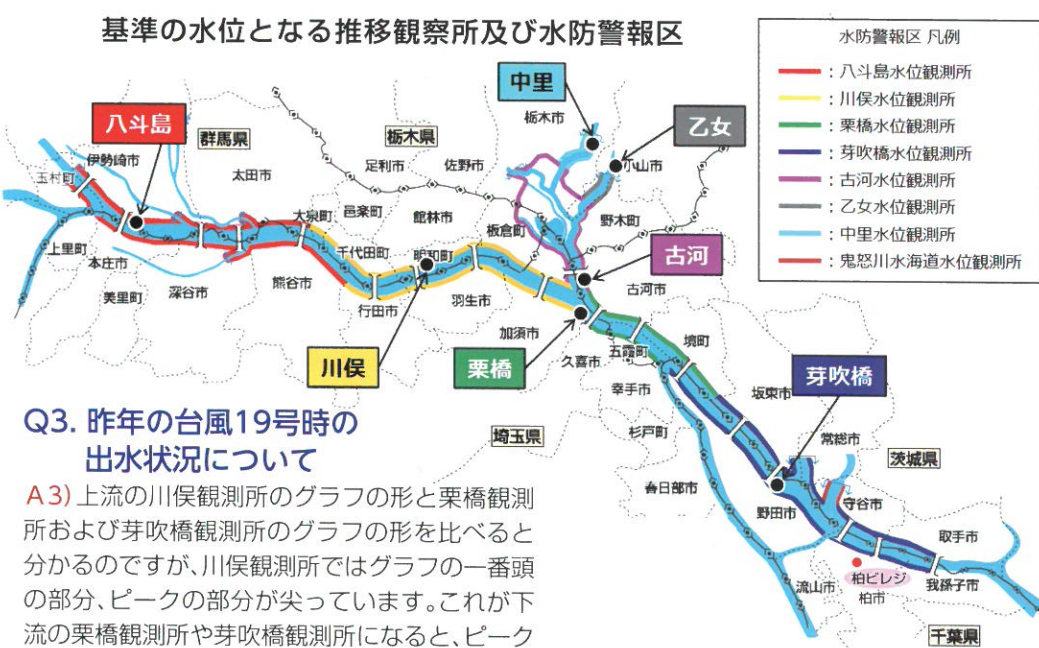
利根川の基幹となる水位観測所で柏ビレッジに、より重要なものは栗橋観測所と芽吹橋観測所です。昨年の台風19号の時は、両観測所とも避難判断水位や氾濫危険水位を大きく超えて計画高水位目前にまで迫っており、非常に危険な状態となっていました。

※「計画高水位」=150年や200年などに1度起こると想定した洪水で、ダムや遊水池などで調節された後の水が川を流れる時の水位。堤防が耐えることができる最大値を指す。(朝日新聞掲載の解説)

Q4. 昨年の検証から分かること

A4) 昨年の状況で、利根川がギリギリのところを守られたのは、上流ダム群に加えて渡良瀬遊水地を含めた4つの調節池が整備されてきたお陰だと感じています。自然のことですので、洪水流が堤防を越えるか越えないかの予測はとても難しいです。渡良瀬遊水地と田中調節池等の4調節池で、合計2.5億トン=東京ドーム200杯分の洪水貯留効果を出しました。最近増えている強烈な降雨や洪水被害により、沿川にお住まいの皆さんの防災意識が高くなっていると思います。

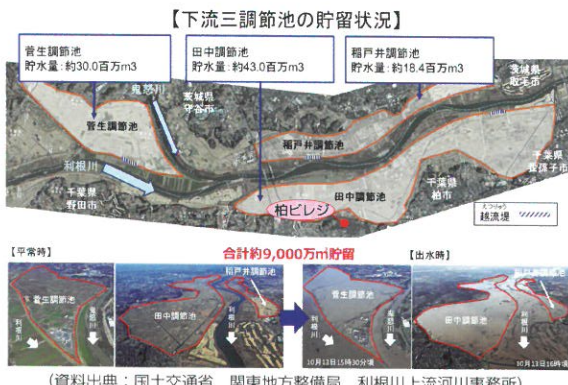
近年は、河川工事に理解を示してくださる方も増えて、工事等の作業が順調に進んでいると感じています。利根川上流河川事務所でも、ツイッターで情報発信をされていて、逐次情報は更新しています。また、ご要望のあった、田中調節池の越流堤のCCTV映像をインターネット配信する件についても実現に向け調整を進めます。利根川上流河川事務所職員の陣容は約100名であり、守谷出張所は委託の方も含め7名で運営されています。今後も利根川・田中調節池・稲戸井調節池の適切な管理・運用に努めていきますので、ご理解とご協力を頂ければと思います。(注: 避難所や情報伝達に関する記載は柏市防災安全課への取材結果を反映)



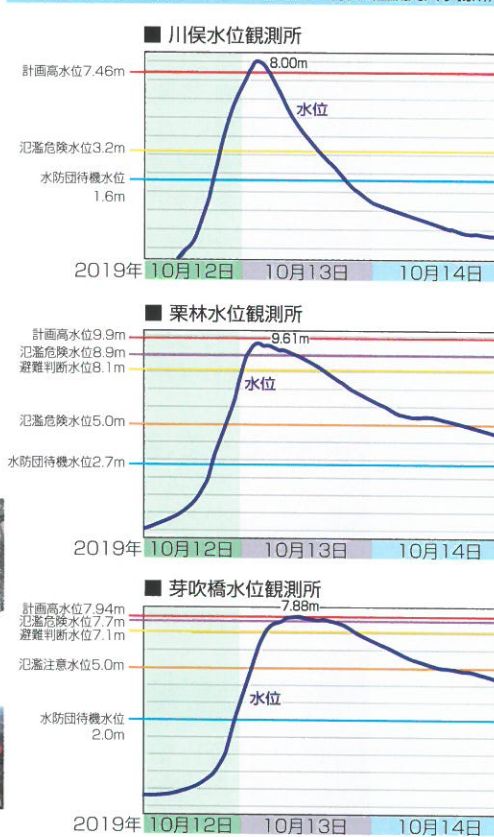
Q3. 昨年の台風19号時の出水状況について

A3) 上流の川俣観測所のグラフの形と栗橋観測所および芽吹橋観測所のグラフの形を比べると分かるのですが、川俣観測所ではグラフの一番頭の部分、ピーク部分が尖っています。これが下流の栗橋観測所や芽吹橋観測所になると、ピーク部分が平たくなっています。ここに調節池が洪水による水位上昇を食い止めている効果が形となって現れています。洪水時、堤防は水位が低いほど安全ということが言えます。栗橋観測所より下流の利根川では、調節池の水位上昇を食い止める効果により、堤防の決壊からの安全性が上がっているということになります。

柏ビレッジの皆さんには、渡良瀬遊水地と田中調節池等の3つの調節池が、柏ビレッジ地域だけではなく、利根川全体を守っていることを知って戴きたいと思います。調節池は基本的に設置箇所周辺とその下流の洪水を軽減しますが、上流ダム群と相まって利根川全体を守っている調節池が目前にあることに誇りを持って頂いても良いのかなと思っています。



出水状況 (資料出典: 国土交通省 関東地方整備局 利根川上流河川事務所)



LINE(ライン)緊急連絡網への登録はお済みですか?

柏ビレッジ自治会では災害時の緊急・避難情報等を伝達する手段として「ライン連絡網」(【送信専用】、公式アカウント)を開設しました。11月24日現在の柏ビレッジの皆さんの登録数は、937名になっています。まだ登録されていない方は、今すぐの「友達登録」をお勧めします。また、未登録の方をご存じでしたら、是非とも登録をお勧めください。



①このQRコードを読み取る



②自治会を「友達追加」する



③歓迎の挨拶が来れば完了です

柏ビレッジ専用の「避難先マップ」を各戸配布しました。

- 避難所や避難場所(オープンスペース)がマップ上に番号で示してあります。
- 地震、暴風雨、洪水などの災害の種類に応じて、どの避難所や避難場所が適切なかを番号で記してあります。
- 柏ビレッジの多くのエリアは低地にあり、洪水時の避難に時間的余裕が無いときは、「まず、高台へ!」避難しましょう。避難経路は「黄色の矢印」です。

マップ情報をもとに、「あなたの避難場所=マイシェルター」を今すぐに決めましょう! 親せき/友人にも知らせてください!

柏ビレッジ自治会のホームページに「ワンストップ防災情報」のコーナーを新設しました。

多発する激甚災害から身を守るための準備に役立つ有益な情報が満載です。ホームページへのアクセスには右のQRコードやアドレスから検索ください。



柏ビレッジ自治会ホームページ [検索 https://kashiwa-village.com/](https://kashiwa-village.com/)



■ 柏市／防災安全課 副参事 橋口さん(右)／主事補 西坂さん(左)

Q1. 昨年の台風19号のような大型の災害が予想される場合、柏レジの住民の避難行動について

A1) 住民の皆さんの行動としましては、平日頃から「ハザードマップ」の確認、「分散避難」の検討、避難ルートの確認、およびSNS等への登録などをお願いしたいと思います。市の対応としては、台風が24時間以内に柏市を直撃し暴風圏内に入ると予想される場合には、まず自主避難所を開設します。自主避難所として、田中近隣センターを開放し、田中近隣センターの収容規模を越えそうな場合には、その近くの小学校中学校に拡大して開設して行きます。今年の台風14号の時も避難所の開設にまでは至らなかったですが、どのような状況になれば開設するかという準備は関係者全員で共通した認識を持って行っていました。また、情報提供もホームページや「かしわメール配信サービス」などで配信して行きます。防災行政無線も当然使用しますが、天候の状況等で聞こえにくい場合には、市の広報車で廻ったり、あるいは消防局や消防団の方に直接廻って頂くような対応をします。

Q2. 実際に避難所が定員一杯になった場合には、どう対応するのですか。

A2) 各避難所には受け入れられる定員がありますが、人命を優先して受け入れられます。また、そのような状況下では災害対策本部が立ち上がっており、まだ移動できるような状況であれば、本部のコントロールにおいて、余裕のある避難所に誘導するように取り決めていきます。原則として、誘導や案内は現場で行われることとなりますが、柏レジの皆さんの場合は、田中近隣センターに連絡を取って頂ければ良いと思います。

Q3. 避難所のコロナウイルス対策について

A3) 柏市内の109か所の避難所には、接触型・非接触型の体温計、消毒液、マスクが配備されており、初動の準備は出ています。それに付随して、間仕切り30セット、簡易ベッド20セットを各避難所に配備するように準備しています。また、近隣センターや学校で感染症対策に対応した避難所開設運営訓練を実施しています。学校では教育委員会関係者や先生の一部にも参加頂いており、開設のための注意点などの認識は共有出来ています。「密」を避けるために、各避難所の定員は通常の収容人員の半分から3分の2程度になると思われます。一人当たり約4㎡を確保し、そこに通路を設定するような対応となります。「避難所運営マニュアル」があり、どのように距離や間隔を取れば良いか等、国からガイドラインで示されています。柏市のホームページにも掲載していますので確認して下さい。各避難所には定員が示されていますが、そこまでの人員は収容できません。そのためにも、従来、学校では体育館のみの開放が前提でしたが、状況に応じて、普段授業で使用しないような学校内の特別な教室を開放して戴くように話を進めています。

田中調節池の堤防かさ上げ計画について (国土交通省)

本年4月の柏レジ自治会定時総会でご質問・ご要望のありました「田中調節池の耐越水堤防」の整備について、本年3月に開催された柏市議会の定例会での公明党 小松幸子議員からの個人質問に対して、柏市土木部から以下のような答弁がありましたので、ご参照ください。以下は答弁の要約です。「本年1月、国土交通省利根川上流河川事務所に田中調節池周囲堤のかさ上げ状況を確認した。具体的な実施時期は未定であるが、現況の20%に当たる約1,000万立米程度の容量の拡大を行う計画としている。柏市として、今後、国と綿密に情報交換を図り、かさ上げ整備の早期実現に向けて国に働き掛けていく。」詳しくは、柏市ホームページより、「かしわ市議会だより No.228」をご確認ください。

■ http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/222000/p054594_d/fil/4.pdf



■ 柏市消防局／救急課 主任 西山さん

Q1. 柏レジ地域への救急車の出動状況について

A1) 下表にありますように、昨年の柏レジへの救急車出動の状況は、ほぼ3日にひとりの割合で住民が救急搬送されています。表から分かることは、柏レジ地域では過去10年救急件数が年々増加の傾向にありました。しかし、本年は9月末までの昨年同期比で約13%減少しています。これは新型コロナウイルスの流行による不要不急の外出自粛や感染予防対策の強化による影響ではないかと考えています。柏レジや柏市だけでなく全国的にも見られる現象になっており、これが急病者数や高齢者数が減少している要因かと考えています。

柏レジ地域への救急出動実績

	2010年 10月~9月	2015年 10月~9月	2019年 10月~9月	2019年 10月~9月	2020年 10月~9月
出動件数	99	111	118	95	83
搬送人数	95	111	118	95	83
火災	3	0	0	0	1
交通事故	4	4	5	4	4
一般負傷等	19	28	18	16	20
急病	70	78	92	72	56
その他	3	1	3	3	2
18歳未満	6	13	10	8	3
成人	35	27	21	16	14
65歳以上	54	71	87	71	66

Q2. 最寄りの消防署から柏レジまで救急車(消防車)の到着に、どのぐらいの時間が掛かりますか。

A2) 待機状況等によって一概には言えませんが、柏市の平均では9.3分で到着しますので、そのぐらいの時間を見ておいてください。その間に心臓が止まってしまった人がいる場合には、指令管制員や救急隊員の指示に従っての心臓マッサージや人工呼吸などの応急処置が大事。救命される人の命に関わって来ることで、AEDなどの救命講習を受ける機会を持って欲しいです。

Q3. 一人暮らしの高齢者にとって、有益な心得・準備などについて

A3) 一人暮らしの方で、救急隊が一番困ることは、親せきや家族への連絡先が分からない場合があることです。結果的に家族が知らない間に救急搬送されることで起こる不都合や、搬送後の自宅の玄関の鍵が閉まっていけないような問題が起きてしまいます。

Q6. 救急車の出動をお願いする119番通報に際して、注意すべき事柄は何ですか。

A6) 柏市のホームページにも掲載されている「生活安心情報」の「正しい119番のかけ方」を参考にしてください。とにかく、「まずは、落ち着いて！」です。

- 自分の安全を確保してから、119番です。
- 消防局が電話を受けると、「はい、119番です。火事ですか？救急ですか？場所はどこですか？」と聞きます。それに対して、「火事です」「救急です」「救助です」と、明確に返答してください。
- 場所については、柏レジの場合には、「柏レジの花野井や大室の何番」と「何支部何街区の何番」の両方を伝えてください。消防局として支部・街区も把握しています。その際に、目標物があれば、それも伝えてください。
- 火事の場合には、何が燃えているか。「家が燃えている、車が燃えている、〇〇に燃え移りそう、けが人が何人いる、逃げ遅れている人がいる」などが要点です。
- 救急の場合には、誰がどんな状態か。「誰が〇〇から落ちて意識(あるいは呼吸)がある・無い、頭(や胸)を押えて倒れている、〇〇から出血している」など、なぜそうなったかの原因と状況が要点です。
- 救助の場合には、どのような事故か、「車と車がぶつかり、人が閉じ込められている、けが人が何人いる」などが要点です。救急の場合でも、救助が必要と判断されれば、119番電話を受ける担当者がしっかりと把握して、その対応を取ります。
- いかに要点だけを正確に伝えるか、現実的には結構難しいが大事なポイントです。応答の最後に、電話番号と通報者の名前を確認します。固定電話は番号を登録しているため、場所の特定が容易ですが、携帯電話は場所の特定に少し時間が掛かる場合があります。
- しかし、携帯電話の場合、移動しながら操作や連絡が出来るため、指令管制員から指示を聞きながら傷病者への処置や必要な道具の準備を行えるなど、それぞれに特性があります。
- 通報が終わった後に、現場に向かう隊員から詳しい情報や住所の再確認などで電話が掛かることもあります。
- 最後に、「わかりました。救急車(消防車)を出動させます。」となります。

Q7. 災害時の消防局からの情報発信の体制等について

A7) 地域としての災害時の情報発信は、柏市等が担っています。消防局としては災害の危険があるような時に巡回などでの呼び掛けは行いますが、地域全体への情報発信の機能はありません。災害時には消防局のほとんどの要員は災害出動で現場に出っぱなしになります。災害の現場で、例えば消防団の方々に土嚢積み等を手伝って戴いているような状況ですので、情報発信の活動までは手が回らないのが実情です。緊急の状況では、出来る限りの活動をしており、普段は別の仕事を持たれている消防団の方々のご協力には頭が下がる思いです。そんな状況ですので、特に災害が迫っている時には現場に急行する際の我々のサイレンの音で差し迫っている大変な状況を察知して戴きたいと思います。

Q4. 家族の連絡先は、どこに置いておけば良いですか。

A4) 現場にいる隊員が見つかりやすい居間のテーブルの上や冷蔵庫の扉、玄関の下駄箱の上などに家族の情報などを置く、ないしは張っておいて貰えば対応しやすいと思います。加えて対象者の既往歴や何の薬を服用しているか、どの病院に通われているのか等の情報も救急搬送の病院先の選定にあたって非常に有益な情報になります。本人に意識があるとは限らない状況で、1分でも2分でも時間を短縮したい救急活動において、これらは非常に大事な情報になります。

Q5. 同居の家族にとって、普段から意識しておくことは何ですか。

A5) よくある困ったこととして、家族間の情報の共有が出来ていないことがあります。平たく言うと、父親が通院していることは知っているが、どの病院が分からない。母親が薬を飲んでいるのは知っているが、何の薬が分からない。常用薬によっては、救急処置に注意する必要も出て来ます。家族の生年月日や年齢を急に聞かれても出てこない、と言うようなこともあります。普段から家族の情報の共有は意識しておいて欲しいです。



■ 柏警察署 生活安全課 防犯係長 警部補 山本さん

Q1. 柏市の最近の盗難被害の傾向について

A1) 今年、柏市内では自動車盗と侵入盗が昨年と比べ大幅に増加した時期がありました。自動車盗の新しい手口として、自宅に保管してあるスマートキーの電波を受信して増幅させ、増幅された電波で車両のロックを解錠し、エンジンの起動を行うリレーアタックと言う手口が確認されています。対策として、スマートキーを金属缶や電波遮断ポーチ等に収納して電波を遮断する、各盗難防止装置を使い物理的な対策を講じる、明るく防犯設備の整った駐車場に駐車する等の対策を取って頂きたいです。侵入盗については、家屋の窓ガラスを割られて侵入されるケースが多いため、窓ガラスへの防犯ブザーや補助錠の取り付け、外出時の施錠の徹底、隣近所への声掛け等を行い、被害を防止して下さい。また、最近では千葉県でも、ガス業者等を装って自宅に上がり込み、現金等を奪う強盗事件も発生しています。柏市内でも、実際に「電気メーターを確認させて下さい。」などと不審者が来訪した事案が発生しています。そのような事件の発生前には、資産状況や在宅の有無を確認する予兆電話(アポ電)が掛かって来ることもあります。在宅時であっても施錠を徹底し、ガス業者等を名乗る者が来訪しても、安易に対応せず、不審点があれば、すぐに110番通報をして下さい。

Q2. 徘徊老人を見かけた時の対応について

A2) 徘徊している老人の方を見かけたら、可能な限り声を掛けて頂き、最寄りの警察署や交番まで連れて来て頂けると助かります。また、その場ですぐに110番通報をして頂ければ、すぐに警察官が対応します。もし、高齢者の方の体調が悪そうであったり、怪我をされているようなことがあれば、併せて119番通報も実施して頂きたいです。また、高齢のご家族が行方不明になられた場合などは、警察に通報して頂ければ、すぐに手配をし、状況によっては市役所の防災無線による広報やメール等による情報発信なども依頼します。住民の皆さんは、もし行方不明者に似ている人を見かけたなどの情報があれば、すぐに警察に連絡して下さい。

Q3. “電話de詐欺”の最近の手口と注意点を教えて下さい。

A3) 柏市内における電話de詐欺の発生件数は、千葉県内でもトップクラスとなります。電話de詐欺の手口として多いのは、警察官や市役所職員等を名乗って電話を掛け、その後犯人が自宅に現金やキャッシュカードを取りに行くと言う手口です。また、ここ最近では、市役所職員を名乗って電話を掛け、「還付金があります。手続きがあるのでATMに行って下さい。」などと言葉巧みに金融機関やコンビニのATMまで誘導し、指定した口座にお金を振り込ませると言った手口も多く見られます。そのような電話de詐欺に対する有効な対策として、柏警察署としては、ご家庭の電話を留守番電話設定にして頂くことをお勧めしています。被害に遭わないためには、犯人と電話で話をしないことが一番です。犯人と話をしてしまうと、気を付けていても騙されてしまうことがあります。被害に遭われた方々の中にも、「私は大丈夫」と思っていた方が少なくありません。ですから、留守番電話設定に頂き、かかって来た電話には出ない、知らない番号の電話には出ないようにして頂きたいです。実際に、警察官が各ご家庭を訪問して、留守番電話設定の説明をさせて頂いたり、その場で設定のお手伝いをさせて頂いたりもしています。もし、万が一不審な電話に出てしまったら、すぐに電話を切り、ご家族や警察に相談して下さい。(編集者注:柏市では留守番電話機購入費の2分の1を助成しています。ただし、上限額は1万円。申請期間は令和3年2月26日まで。予算枠あり。)

Q4. 一人暮らしの高齢者にとって、気付きにくい防犯の心得について

A4) 一人暮らしの高齢者の方々の中には、あまり周囲と関わりを持たずに生活されている方もいらっしゃるかと思います。警察官は、巡回連絡や戸別訪問等で高齢者の方のご家庭を訪問して、防犯指導等を実施しています。また、行政機関や地域の方々との連携を取りながら、安全で安心な街づくりを推進したいと思っていますので、平日頃から近隣同士による声掛け、地域ぐるみでの防犯対策等を行い、犯罪が発生しにくい、犯罪者を寄せ付けない街にするという意識を持っていただき、各種防犯活動にご協力を頂きたいです。